

ありがとう喜石材新聞

日没も早くなり、いよいよ秋も深まってまいりました。
 いかがお過ごしでしょうか。三男坊が幼稚園に入園
 して2回目の運動会がありました。まだまだ登園時に
 泣いて行きたがらない三男坊ですが、心配していた

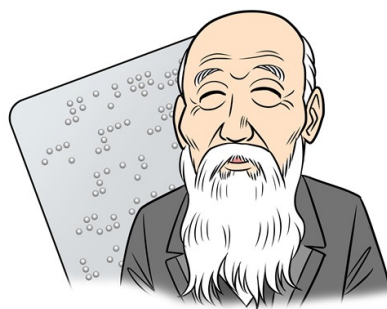


運動会本番では全く泣か
 ず安心しました。かけっこ

では安定の最後にゆっくりゴール、その他の競技でも
 我が道を行くスタイルでなんとか競技を終えました。
 子供の競技終了後は大人の細引き競技。初めて参
 加しましたが、白熱した戦いで保護者同士の良いコ
 ミュニケーションの機会となりました。来年も頑張りま
 しょう!と声を掛け合い、無事終了しました。

知って いますか? 11月の記念日

●11月1日は「点字の日・日本点字制定記念日」です
 日本語用の点字が決められたことにちなんで
 制定されました。それまでは欧米の点字を利用
 したローマ字綴りで表現されていたため、かな文
 字にあった点字として考案された案が、1890年
 (明治23年)のこの日に開催された日本点字
 選定会で正式に採用
 されました。
 この点字を考案した
 石川倉次は、「日本
 点字の父」とも呼ば
 れています。



■発行者:有川喜(ありかわき)石材店
 有川 佑樹 (ありかわ ゆうき)

昭和57年6月 下五島生まれ。
 家族は妻、長男(高2)、次男(中1)、三男
 (幼稚園)の5人家族、両親も健在です。
 父(社長)のもと仕事をしています。
 (一社)全国優良石材店の会 認定店。
 (一社)日本石材産業協会
 長崎支部所属

海陽高(旧五島商)時代は
 サッカー部、ディフェンス
 担当でした。最近では地元ソ
 フトボールチームで汗を流
 しています。仕事と同じくら
 い釣り好きです!!



(有)有川喜石材店 TEL:0959-72-2457
 長崎県五島市三尾野3-6-1



～お墓・仏事の三ニ知識～



★「十三仏(じゅうさんぶつ)」とは？

仏教の多くの宗派では、人が亡くなると初七日から始まって三十三回忌まで十三の節目に法要を行います。その際に、故人の成仏を願い、見守るとされているのが「十三仏」です。もともとは、中国で始まった「人は亡くなると7日ごとに審判を受ける」という十王信仰を受けて、日本独自の信仰として室町



時代ごろに広まったとされています。初七日は不動明王、四十九日は薬師如来、三十三回忌は虚空蔵菩薩というように、それぞれの年忌ごとに異なる仏が守るとされていて、宗派によっては追善供養として掛軸を飾って故人の冥福を祈ります。「故人が無事に極楽浄土へたどり着けるように」という、残された人々の強い想いが感じられます。

神事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

京都市にある木嶋坐天照御魂神社(別名:蚕ノ社)にある珍しい鳥居は次のうちどれでしょう？

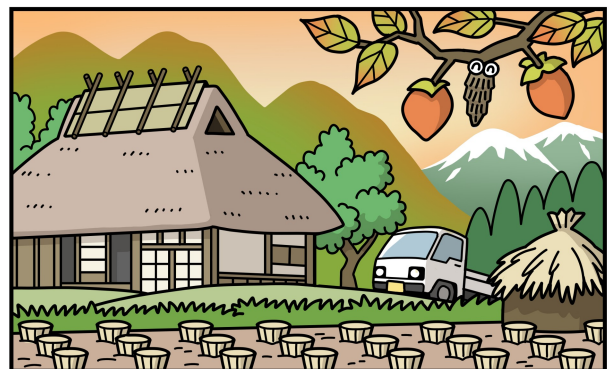
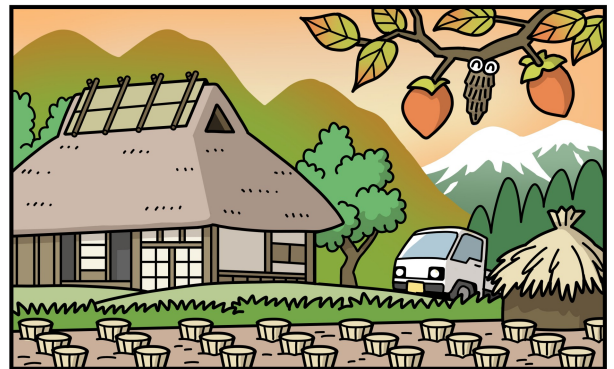
- ① 屋根付きの鳥居
- ② 柱が三本の鳥居
- ③ 陶器の鳥居

ヒント

真上から見ると三角形に見えます。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。